

主要行等の平成 26 年 9 月期決算の概要

1. 損益の状況（グループ連結ベース）

- 26 年 9 月期は、資金利益やその他業務利益（主に債券等関係損益）の増加に加え、与信関係費用の戻入益も増加。他方で、海外業務関連経費が増加したことなどにより、結果として中間純利益は前年同期に比べ 1.5% の減少。

（単位：億円）

	24 年 9 月期	25 年 9 月期	26 年 9 月期	前年同期比
連結業務粗利益	50,952	51,752	53,320	1,568
資金利益	25,061	26,438	27,555	1,116
役務取引等利益	12,602	15,429	15,425	▲ 3
その他業務利益	7,950	4,186	5,194	1,008
うち債券等関係損益(※※)	6,296	1,234	2,289	1,055
経費	▲ 27,485	▲ 29,728	▲ 31,537	▲ 1,809
連結業務純益	22,690	22,112	21,844	▲ 268
与信関係費用(※)	▲ 1,025	1,590	2,500	910
株式等関係損益	▲ 5,857	1,642	1,462	▲ 180
うち株式等償却(※※)	▲ 7,114	▲ 335	▲ 88	247
中間純利益	10,888	17,081	16,826	▲ 255

※ 与信関係費用について、正の値は益を、負の値は損を表す。 ※※ 債券等関係損益、株式等償却については銀行単体ベース。

（参考）	24 年 9 月期	25 年 9 月期	26 年 9 月期
貸出金（末残）	244.3 兆円	263.9 兆円	277.7 兆円

（注）貸出金は銀行単体ベースの銀行勘定計

2. 不良債権の状況（銀行単体ベース）

- 不良債権額は 26 年 3 月期に比べ減少、不良債権比率も低下。

（いずれも平成 11 年 3 月期の金融再生法に基づく開示以降で最低）

	25 年 9 月期	26 年 3 月期	26 年 9 月期
不良債権額	4.4 兆円	4.0 兆円	3.5 兆円
不良債権比率	1.53%	1.33%	1.14%

3. 自己資本比率の状況（グループ連結ベース）

- 国際統一基準行の総自己資本比率、普通株式等 Tier1 比率は、26 年 3 月期に比べ上昇。

- 国内基準行の自己資本比率は、公的資金の返済を進めたことに伴い、26 年 3 月期に比べ低下。

（国際統一基準行：4 グループ）

（国内基準行：3 グループ）

	26 年 3 月期	26 年 9 月期		26 年 3 月期	26 年 9 月期
総自己資本比率	15.18%	15.36%	自己資本比率	14.27%	13.91%
Tier1 比率	11.98%	11.99%			
普通株式等 Tier1 比率	10.33%	10.36%			

（注）記載金額・比率は、四捨五入して表示。